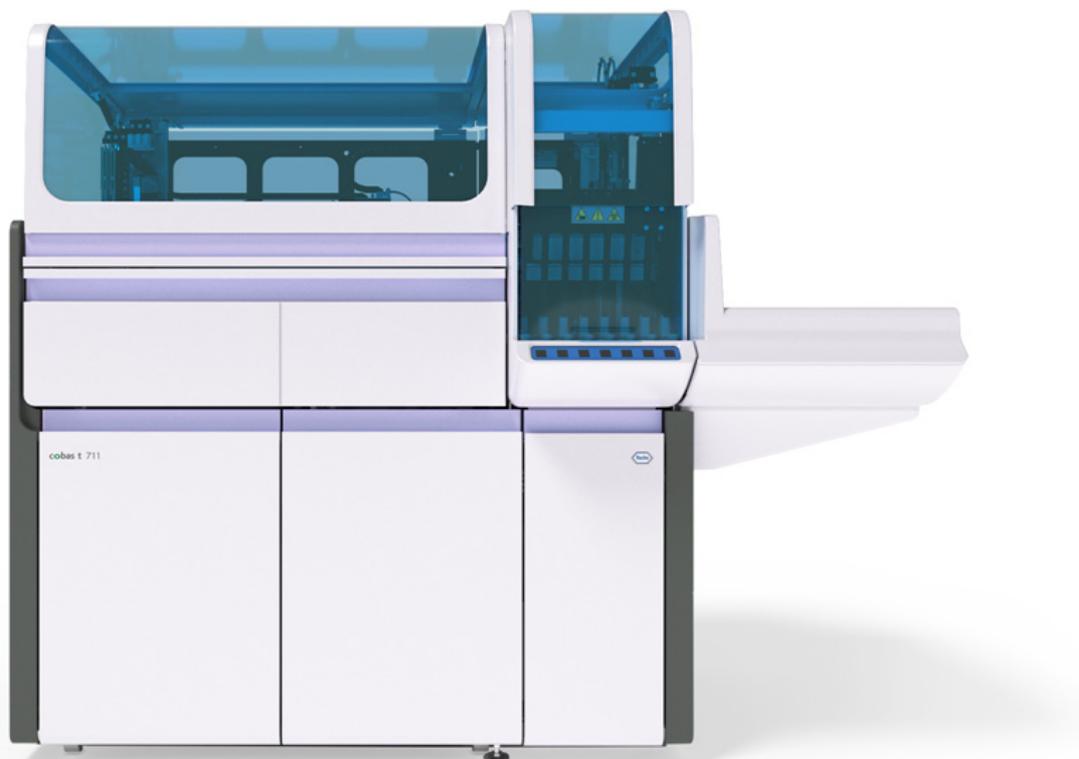


コバス[®] t 711 血液凝固測定装置

クイックリファレンスガイド バージョン 7.0
ソフトウェアバージョン 2.4



本書に関する情報

本書のバージョン	ソフトウェアバージョン	改訂日	変更内容
1.0	1.0	2017年3月	<ul style="list-style-type: none"> 初版
1.1	1.0	2017年7月	<ul style="list-style-type: none"> 安全上のメッセージの更新
2.0	2.0	2018年8月	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア 2.0 用に改訂 サンプルエリア及び洗浄液/廃液ドロー上での安全ラベルの更新
2.1	2.0.2	2019年3月	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンスの「プローブアセンブリーの清掃」の更新 コバス® tデベロップメントチャンネルカセットの取扱い方法の更新
3.0	2.1	2019年8月	<ul style="list-style-type: none"> 新しいワークエリアの実装 - サンプルと結果 新しい QC 初期項目の設定 新しい図示コンセプト
4.0	2.1.1	2020年9月	<ul style="list-style-type: none"> IVDR、規則 (EU) 2017/746 への準拠 システムのバックアップ手順 新しい安全上のメッセージ 採血管の取扱い メンテナンスビデオ

改訂履歴

本書のバージョン	ソフトウェアバージョン	改訂日	変更内容
5.0	2.2	2021年8月	<ul style="list-style-type: none"> データアラームの詳細情報 新しいデータアラーム 新しいデータアップロードオプション 新しいバックアップオプション e-ライブラリワークフローの更新 e-バーコードの取扱いの更新 LISセキュリティの更新 保存時の暗号化 - 暗号化された外部ストレージデバイスの使用を推奨します。 コバス® t711 接続モジュールの仕様の追加 キャップなしチューブの取扱いの仕様の追加 導電性の5ポジションラックの清掃 キュベット搬送のトラブルシューティングの更新
6.0	2.3	2023年3月	<ul style="list-style-type: none"> イラスト図の訂正 導電性の5ポジションラックの清掃タスクを更新 メンテナンスアクションの一覧を更新 シリンジとシリンジプランジャーの交換に関する新しい対話型ヘルプ コピーしたCSVファイルのMS Excelへの新規インポート QCラックのラックリリースタイムを更新 未測定オーダーのキャンセル 試薬の自動調製用シリンジ 試薬カセットの自動調製用のワークフロー優先順位 Roche スペシャル洗浄ルールの必須更新 HIL 依存テストの測定結果のコメントについて 毎週のメンテナンスワークフローの改善 項目間演算のQC測定 QC初期項目 二次測定単位の定義 データアラーム情報の修正 検体凝固又はプローブの詰まりに関する設定可能なデータアラーム <p>詳細については、次のセクションを参照してください。</p> <p>📄 本書バージョン 6.0 での新規事項 (30)</p>

改訂履歴

本書のバージョン	ソフトウェアバージョン	改訂日	変更内容
7.0	2.4	2025年3月	<ul style="list-style-type: none"> スーパーバイザーから管理者へ名前変更 製品は Rx Only と表示 コバスコネクションモジュール (CCM) とザルスタットのインサートは IVD のアクセサリです トラブルシューティングのタスクで問題が解決されました。 Samp.C と結果の抑制の設定に関する説明がより明確になりました。 Code 128 バーコード：バーコードの Code 128 のサポートについての詳細が記載されています。 項目間演算はパススルーモードでサポートされています 項目間演算のアップロード：測定装置は、項目間演算情報を LIS（臨床検査情報システム）にアップロードすることができます。 サンプルラックを排出する前の LIS クエリ：サンプルラックを排出する前に、未処理のオーダーについて LIS に自動的にクエリするように測定装置を設定できます。 プロセス設定画面が更新されました 検査プロファイル：システムは検査プロファイルに対応しており、ユーザー定義の臨床検査の組み合わせを一度に手動でオーダーできます。 コバス[®] t 711 血液凝固測定装置では、サンプルバルコニーは、オプションの IVD アクセサリになりました。 このシステムはクロスミキシングに対応しています。 システムは、サンプルチューブの液面をチェックできます。 このシステムは、ユーザー定義のカスタムチューブタイプをサポートしています。 すべての試薬カセット及びすべてのラックを手動で排出するトラブルシューティング作業を追加しました。 <p>☐ 本書バージョン 7.0 での新規事項 (24)</p>

☐ 改訂履歴

本書について

本書は、コバス[®] t 711 血液凝固測定装置のオペレーターを対象にしています。

本書は発行時点で正確な情報を記載するよう、あらゆる努力を払って作成しています。ただし、本製品の製造元は、製品調査活動の結果として公開されている情報を更新し、本文書の新しいバージョンを発行する場合があります。

参照情報

ユーザーアシスタンスには、以下を含む、すべての製品情報が含まれています。

- ルーチン操作
- メンテナンス
- 安全性
- トラブルシューティング情報
- ソフトウェアリファレンス
- 設定情報
- 背景情報

ユーザーガイドは、特にルーチン操作及びメンテナンスについて記載しています。内容は、通常の操作ワークフローに従ってまとめられています。

安全ガイドには重要な安全情報が含まれています。装置を操作する前に、必ず安全ガイドをお読みください。

クイックリファレンスガイドは、特にルーチン操作について記載しています。クイックリファレンスガイドは、通常の操作ワークフローに従ってまとめられており、情報を要約して記載しています。詳細については、ユーザーマニュアル又はユーザーアシスタンスを参照してください。

個人情報保護に関する通知

ユーザーアシスタンスをオンラインで使用すると、閲覧イベント（閲覧済みトピックと実行済み検索）及びIPアドレスが記録されます。

収集されたデータは弊社の社内使用のみを目的としており、第三者に転送されることはありません。匿名化され、1年後に自動的に削除されます。

閲覧イベントは、ユーザーアシスタンスのコンテンツや検索機能の改善を目的に分析されます。IPアドレスは、地域的な動向の分類に使用されます。

著作権

© 2017-2025, F. Hoffmann-La Roche Ltd. All rights reserved.

連絡先



ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社
〒108-0075
東京都港区港南 1-2-70
品川シーズンテラス

米国の場合

Rx ONLY

ロシュ関連会社

ロシュの全関連会社のリストは以下で確認できます。

「www.roche.com/about/business/roche_worldwide.htm」

eLabDoc

電子ユーザーマニュアルは、Roche navify Portal の eLabDoc e- サービスを介してダウンロードできます。

「navifyportal.roche.com」

詳細については、各地域の関連会社又はロシュのサービス担当者にお問い合わせください。

目次

はじめに	8
使用目的	8
IVD アクセサリーの使用目的	8
記号と略称	9
主なワークフローの概要	11
クイックリファレンス：操作の前に	13
クイックリファレンス：消耗品及び廃棄物の管理	14
クイックリファレンス：試薬	16
クイックリファレンス：キャリブレーション ...	17
クイックリファレンス：QC	20
クイックリファレンス：テストオーダー及びラックの取扱い	22
クイックリファレンス：結果の取扱い	24
クイックリファレンス：ファクターパラレルズム測定結果の取扱い	25
クイックリファレンス：クロスミキシング検査結果の取扱い	26

はじめに

本書は、コバス[®] t 711 血液凝固測定装置ユーザーガイド又はユーザーアシスタンスと一緒に使用してください。

操作及びメンテナンスに関する作業は、ユーザーガイド及びユーザーアシスタンスに記載されています。

使用目的

コバス[®] t 711 血液凝固測定装置は、ヒトクエン酸血漿中を in vitro で定性的及び定量的に測定するための完全自動化された凝固分析装置であり、その結果は凝固異常の診断及び抗凝固療法のモニタリングに役立ちます。

コバス[®] t 711 血液凝固測定装置は、スタンドアロン型の装置ですが、検査室の搬送システムにも接続することができます。

IVD アクセサリーの使用目的

アクセサリーの使用目的は、必ずしもコバス[®] t 711 血液凝固測定装置に限定されません。

インサートザルスタット 8 mm チューブ

コバス[®] t 711 血液凝固測定装置で小容量の採血管を取り扱うためのラックインサート。

記号と略称

製品名

別段に明記されている場合を除き、以下の製品名及び略称が使用されています。

製品名	説明
コバス [®] t 711 血液凝固測定装置 用システムソフトウェア	ソフトウェア
コバス [®] t 711 血液凝固測定装置	分析装置
システムクリーナー	システムクリーナー
HIL テスト	HIL テスト

☒ 製品名

本書で使用される記号

記号	説明
•	リスト項目
↔	別のトピックへの相互参照
☒	図。図のタイトル及び図の相互参照で使用
☒	表。表のタイトル及び表の相互参照で使用
√x	式。式の相互参照で使用
🔗	コード例。コードタイトルとコードへの相互参照で使用
💡	ヒント。正しい使用方法についての追加情報や役立つヒントに使用
📌	タスク内の追加情報
➔	タスク内のアクションの結果
📅	タスクの頻度
🕒	タスクの期間
📦	タスクに必要な材料
📋	タスクの前提条件

☒ 本書で使用される記号

略称

以下の略称が使用されます。

略称	定義
ANSI	米国規格協会
CDC	コバスデベロップメントチャンネル
CFR	連邦規則集
CISPR	「Comité International Spécial des Perturbations Radioélectriques」(国際無線干渉特別委員会)
FCC	連邦通信委員会
ICA	循環抗凝固剤の指数
IEC	国際電気標準会議
ISO	国際標準化機構
IVD	「」体外診断

☒ 略称

略称	定義
IVDR	「」体外診断用医療機器規則
LAS	ラボオートメーションシステム
LLD	液面検知
PNP	正常プール血漿
PP	患者血漿
SOP	標準操作手順書

☒ 略称

主なワークフローの概要

主なワークフローには、消耗品と検体の管理と架設手順及び測定結果の取扱い手順が含まれています。

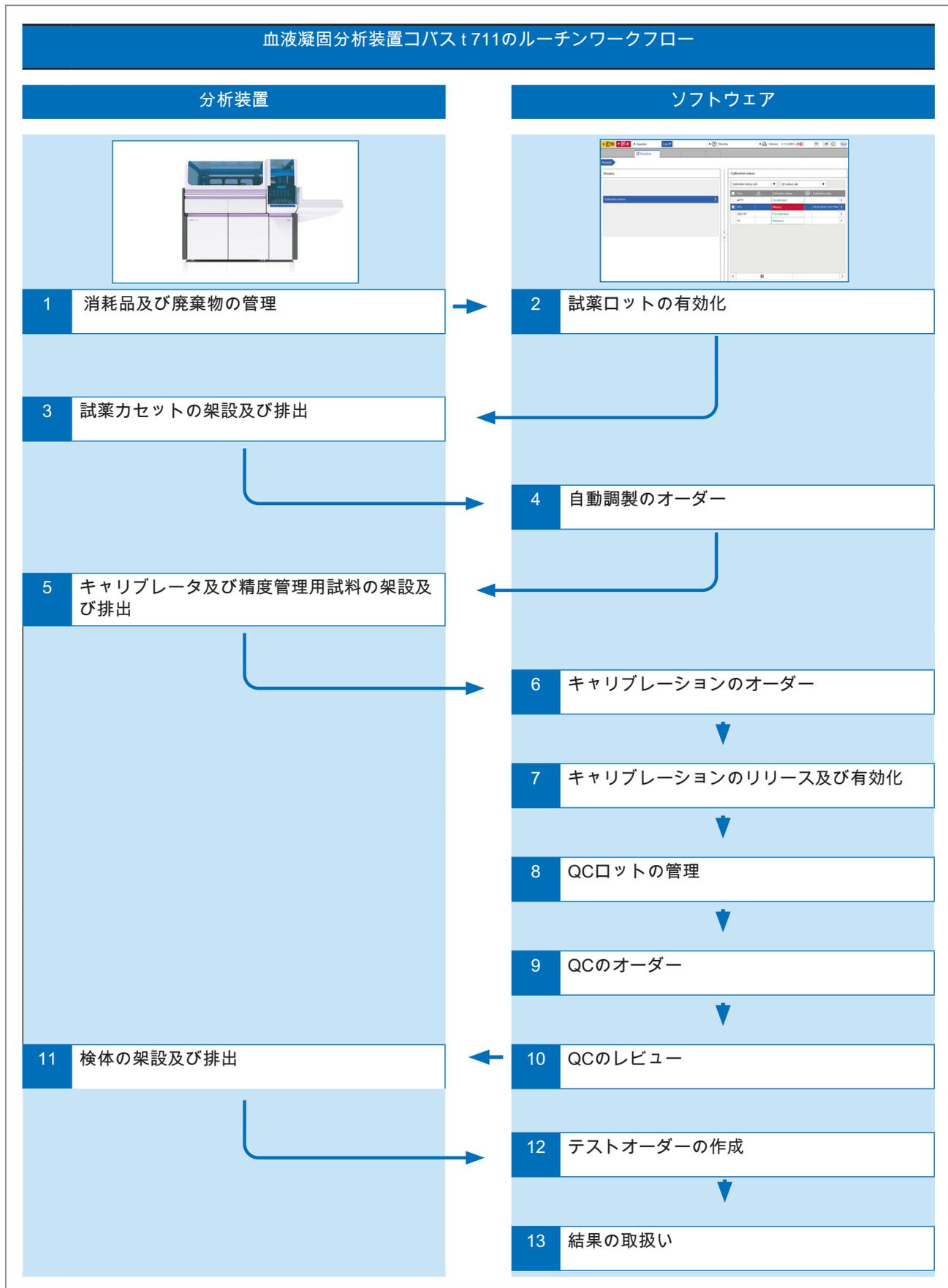
 メインワークフローの順番は、特定のワークフローの必要性に基づいて設定することができます。必ず検査室の適切な基準に従い、廃液や廃棄物を取り扱った後は、使い捨て手袋を交換してください。

△ 警告

測定結果の遅延

メモリーが不足になると、測定結果が遅れることがあります。

- ▶ アーカイブが定期的に行われ、古くなった結果が削除されていることを確認してください。
 - ▶ プロブレムレポート、PDF ファイル、及びスクリーンショットなどの古いデータは削除してください。
-



☒ コバス® t711 のルーチンワークフロー

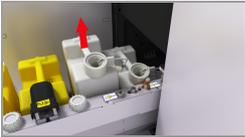
クイックリファレンス：操作の前に

手順	作業内容
<p>1 システムの起動</p> 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 起動が必要な場合は、右側ドアを開き、電源スイッチをオンにします。 2. 右側ドアを閉じます。 3. コントロールユニットをオンにします。 4. ソフトウェアのグローバルインフォメーションエリアで、ログインボタンを選択します。 5. ログイン確認ウィンドウでユーザー名とパスワードを入力し、ログインボタンを選択します。 <p> システムの起動には最大で 70 分かかる場合があります。</p>
<p>2 水及び廃液を確認します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 左側ドアを開き、洗浄液／廃液ドロワーを引き出します。 2. 洗浄液コンテナエルボーコネクタの接続を外します。 3. 洗浄液コンテナを持ち上げて洗浄液／廃液ドロワーから外し、残量が十分あることを確認します。足りない場合は充てんします。 4. 洗浄液コンテナを洗浄液／廃液ドロワーに架設し、エルボーコネクタを再度接続します。チューブがねじれないように注意してください。 5. 廃液ディスペンスキャップを開き、廃液コンテナを持ち上げます。廃液コンテナは半分以上満たされていないようにしてください。必要に応じて空にします。 6. 廃液コンテナを洗浄液／廃液ドロワーに架設し、廃液ディスペンスキャップを閉めます。 7. 洗浄液／廃液ドロワー及び左側ドアを閉じます。
<p>3 廃棄物及びシステムクリーナーを確認します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 中央ドアを開き、廃棄物ドロワーを引き出します。 2. 廃棄ボックスコンテナが半分以上満たされていないようにしてください。必要に応じて空にします。廃棄ボックスコンテナを空にする場合は、必ずキューベットカウンターボタンをリセットしてください。 3. 廃棄物ドロワーを閉じます。 4. システムクリーナーボトルの残量は目視で確認し、システムクリーナーボトルトレイより高くなるようにしてください。必要に応じて、システムクリーナーボトルを交換します。 5. 左側ドアを閉じます。
<p>4 キュベットを確認します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前面パネルを開きます。 2. ステータスインジケーターが点灯していることを確認します。 3. ステータスインジケーターが消灯している場合、キュベットを補充してください。 4. 前面パネルを閉じます。
<p>5 タスク及びメッセージの取扱い</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. タスクを表示するには、グローバルインフォメーションエリアで  アイコンを選択します。 2. メッセージを表示するには、グローバルインフォメーションエリアで  アイコンを選択します。 3. メッセージを確認するには、確認するメッセージの隣にある  ボタンを選択します。 4. 詳細パネル下部又は メッセージ パネル下部のいずれかにある 確認 ボタンを選択し、メッセージを確認します。

クイックリファレンス：操作の前に

クイックリファレンス：消耗品及び廃棄物の管理

連続運転を確実にを行うために、消耗品及び廃棄物の管理タスクを定期的に行ってください。

手順	作業内容
1 システム上で消耗品及び廃棄物を確認する	<ol style="list-style-type: none"> 1. ルーチン > 他のリソースを選択します。 2. 他のリソースパネルで、精製水（脱イオン水、蒸留水）タブ、廃液タブ、クリーナータブ及びキューベットタブに OK ステータスが表示されていることを確認します。 3. 特定の消耗品又は廃棄物のステータスを確認するには、対応するタブを選択します。
2 水の充てん	 <ol style="list-style-type: none"> 1. 左側ドアを開き、洗浄液／廃液ドロワーを引き出します。 2. 洗浄液コンテナエルボーコネクターの接続を外し、チューブアダプターを取り外します。 3. 洗浄液コンテナを取り外し、脱イオン水で洗い流します。 4. 洗浄液コンテナに脱イオン水をいっぱいまで満たします。 5. 洗浄液コンテナを洗浄液／廃液ドロワーに架設し、チューブアダプターをもう一度取り付け、洗浄液コンテナエルボーコネクターを再接続します。水チューブがねじれたり、引っ張られたりしないようにしてください。 6. 洗浄液／廃液ドロワー及び左側ドアを閉じます。
3 廃液を空にする	 <ol style="list-style-type: none"> 1. 左側ドアを開き、洗浄液／廃液ドロワーを引き出します。 2. 廃液ディスペンスキャップを開き、廃液コンテナキャップを取り付けます。 3. 廃液コンテナを持ち上げて外し、各地域の規制に従って廃液を廃棄します（廃液コンテナを取り外す前に、コンテナの外側に消毒剤を塗布してください）。 4. （各地域の要件及びメーカーの仕様に従って）消毒剤を廃液コンテナに入れます。 5. 廃液コンテナを洗浄液／廃液ドロワーに架設し、廃液コンテナキャップを取り外し、廃液ディスペンスキャップを閉めます。 6. 洗浄液／廃液ドロワー及び左側ドアを閉じます。
4 廃棄物を空にする	 <ol style="list-style-type: none"> 1. 中央ドアを開き、廃棄物ドロワーを引き出します。 2. 廃棄物バッグ上部の紐を引っ張って、バッグを廃棄ボックスコンテナから持ち上げて外します。 3. 紐を結び、各地域の規制に従って廃棄物バッグを廃棄します。 4. 交換用バッグを廃棄ボックスコンテナに取り付けます。 5. 廃棄ボックスコンテナ上部にカバーを取り付けます。 6. 廃棄物ドロワーを閉じます。 7. 廃棄トレイを引き出し、廃棄物を廃棄します。廃棄トレイを清掃してから再び挿入します。 8. キューベットカウンターリセットボタンを押します。 9. 中央ドアを閉じます。

☒ クイックリファレンス：消耗品及び廃棄物の管理

手順	作業内容
5 システムクリーナーボトルの交換	 <p>💡 本アクションを行う前に、システムがスタンバイステータス、一時停止ステータス又は警告ステータスになっていることを確認してください。</p>
6 キュベットの架設	 <ol style="list-style-type: none"> 1. 中央ドアを開きます。 2. システムクリーナーボトルチューブをチューブスロットから取り外します。 3. システムクリーナーボトルをシステムクリーナーボトルチューブアダプターと一緒に持ち上げ、システムクリーナーボトルトレイから外します。 4. システムクリーナーボトルをシステムクリーナーボトルチューブアダプターから引き抜き、装置から外します。 5. システムクリーナーボトルチューブアダプターを交換用システムクリーナーボトルに挿入します。 6. システムクリーナーボトル及びチューブアダプターをシステムクリーナーボトルトレイに架設します。 7. システムクリーナーボトルチューブをチューブスロットに再び挿入し、中央ドアを閉じます。

☒ クイックリファレンス：消耗品及び廃棄物の管理

クイックリファレンス：試薬

手順	作業内容
1 試薬の有効化	1. 試薬ロットを有効化するには、以下を行います。 <ul style="list-style-type: none"> • 管理 > 試薬ロットの有効化を選択します。 • 有効化する試薬の隣にある  ボタンを選択します。 • 以下のロットを有効化：{0}. パネルで有効化する試薬ロットを選択し、有効化ボタンを選択して確定します。
2 試薬カセットの装置への架設及び排出 	1. 前面パネルを開きます。 2. ステータスインジケータの消灯を確認し、試薬カセットドロワーを開きます。 3. 試薬カセットは、試薬カセットドロワーの左側にある架設位置に架設してください。試薬カセットドロワーの右側にある排出位置から、試薬カセットを排出します。 4. 試薬カセットドロワーを閉じます。 5. 前面パネルを閉じます。
3 自動調製のオーダーとキャンセル	自動調製は、 試薬の詳細 パネル又は 試薬の自動調製オーダー パネルのいずれかからオーダーすることができます。 <ol style="list-style-type: none"> 1. ルーチン > 試薬ステータス > 試薬の概要を選択します。 2. 自動調製する試薬を選択します。 3. 試薬の詳細パネルで、試薬ボトルポジションの隣にあるチェックボックスを選択します。 4. パネル下部の試薬の自動調製ボタンを選択します。 試薬の自動調製オーダー パネルから： <ol style="list-style-type: none"> 1. ルーチン > 試薬ステータス > 試薬の自動調製オーダーを選択します。 2. 試薬の自動調製オーダーパネルで自動調製する試薬カセットを選択し、実行するテスト回数を入力します。 3. すぐに自動調製をオーダーするには、パネル下部にある直ぐに調製オプションを選択し、オーダーボタンを選択します。 自動調製オーダーをキャンセルするには、 試薬の自動調製オーダー パネルでキャンセルする保留中のオーダーを選択し、 オーダーをキャンセルボタン を選択します。
4 自動調製のための試薬下限量の設定	自動調製又は 試薬がありません タスクのためにトリガー値を設定することができます。 <ol style="list-style-type: none"> 1. ルーチン > 試薬ステータス > 試薬の概要を選択します。 2. 試薬の概要パネル右下部の自動調製開始の編集ボタンを選択します。 3. テスト = 欄又は mL 欄に数量を入力してから、保存ボタンを選択します。
5 試薬のマスク、マスク解除又は廃棄	<ol style="list-style-type: none"> 1. ルーチン > 試薬ステータス > 試薬の詳細を選択します。 2. 試薬をマスクするには、試薬ボトルのポジションを選択し、マスクボタンを選択します。 3. 試薬のマスクを解除するには、マスクされた試薬ボトルのポジションを選択し、マスク解除ボタンを選択します。 4. 試薬カセット又は試薬ボトルを廃棄するには、試薬カセット又は試薬ボトルを選択し、廃棄ボタンを選択します（元に戻すことはできません）。

☐ クイックリファレンス：試薬

クイックリファレンス：キャリブレーション

手順	作業内容
1 キャリブレータの架設	 <ol style="list-style-type: none"> 1. キャリブレータが入ったチューブを適切なラックに架設します。 2. ラックを装置右側のラックスロットに挿入します。 3. ラックが装置に架設され、バーコードが読み取られるまで待ちます。 4. システムに架設されているラックを表示するには、ルーチン > ラックを選択します。 5. キャリブレータラックを排出するには、当該ラックの隣にあるチェックボックスを選択し、排出ボタンをクリックします。
2 キャリブレーションのオーダー	<ol style="list-style-type: none"> 1. ルーチン > キャリブレーションのステータスを選択します。 2. キャリブレーションのステータスパネルでキャリブレーションが必要な項目を選択し、キャリブレーションオーダーボタンを選択します。
3 キャリブレーションのキャンセル	<ol style="list-style-type: none"> 1. ルーチン > キャリブレーションのステータスを選択します。 2. キャリブレーションのステータスパネルで項目を選択し、▶ボタンを選択します。 キャリブレーション一覧パネルで、キャンセルするキャリブレーションオーダーを選択し、キャリブレーションのキャンセルボタンを選択します。
4 キャリブレーションの削除	<ol style="list-style-type: none"> 1. ルーチン > キャリブレーションのステータスを選択します。 2. キャリブレーションのステータスパネルで項目を選択し、▶ボタンを選択します。 3. キャリブレーション一覧パネルでキャリブレーションを選択し、削除ボタンをクリックします。
5 キャリブレーションのレビュー及びリリース	<ol style="list-style-type: none"> 1. ルーチン > キャリブレーションのステータスを選択します。 2. キャリブレーションのステータスパネルで項目を選択し、▶ボタンを選択します。 3. キャリブレーション一覧パネルでキャリブレーションを選択し、▶ボタンを選択します。 4. 検量線タブ下部のリリースボタンを選択します。
6 キャリブレーションリリースの取消し	<ol style="list-style-type: none"> 1. ルーチン > キャリブレーションのステータスを選択します。 2. キャリブレーションのステータスパネルで項目を選択し、▶ボタンを選択します。 3. キャリブレーション一覧パネルで、キャリブレーションビュータブ又はカセットビュータブを選択します。キャリブレーション又はカセットを選択し、▶ボタンを選択します。 4. キャリブレーション詳細 {0} {1}パネルの検量線タブ下のリリースを取り消すボタンを選択します。
7 更新キャリブレーションの実施	<ol style="list-style-type: none"> 1. ルーチン > キャリブレーションのステータスを選択します。 2. キャリブレーションのステータスパネルで項目を選択し、▶ボタンを選択します。 3. キャリブレーション一覧パネルのカセットビュータブ又はキャリブレーションビュータブで、キャリブレーションするカセット又は試薬ロットを選択し、キャリブレーションを更新するボタンを選択します。

☒ クイックリファレンス：キャリブレーション

手順	作業内容
<p>8 カセットキャリブレーションの実施</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ルーチン > キャリブレーションのステータスを選択します。 2. キャリブレーションのステータスパネルで項目を選択し、> ボタンを選択します。 3. キャリブレーション一覧パネルのカセットビュータブで LCTL を超過したカセットを選択し、フルキャリブレーションボタンを選択します。又は、キャリブレーションを更新するボタンがあれば選択します。 4. ロットキャリブレーションのタイムリミットを超過しました確認画面でカセットキャリブレーションボタンを選択します。 5. カセットキャリブレーションの新しい行がリストに表示されます。 6. キャリブレーションをレビューするには、キャリブレーションの結果が有効ステータスになるまで待ちます。その後、カセットを選択し、> ボタンを選択します。 7. キャリブレーション詳細 {0} {1} パネルの検量線タブ又はキャリブレーション結果詳細タブでキャリブレーションを管理します。キャリブレーション結果が使用可能な場合は、リリースボタンを選択します。
<p>9 キャリブレーションのリリース済みステータスへのリセット</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ルーチン > キャリブレーションのステータスを選択します。 2. キャリブレーションのステータスパネルで項目を選択し、> ボタンを選択します。 3. キャリブレーション一覧パネルで、期限切れとなったキャリブレーションを選択します。最新の QC で、当該のキャリブレーションがまだ使用可能であることが判断できる場合は、> ボタンを選択します。 4. キャリブレーション詳細 {0} {1} パネルの検量線タブ下の再リリースボタンを選択します。 5. 再リリース確認画面を確定します。
<p>10 キャリブレーションのリピートポイントの実施</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ルーチン > キャリブレーションのステータスを選択します。 2. キャリブレーションのステータスパネルで項目を選択し、> ボタンを選択します。 3. キャリブレーション一覧パネルでキャリブレーションを選択し、> ボタンを選択します。 4. キャリブレーション詳細 {0} {1} パネルでリストから該当するキャリブレーションポイントを選択します。 5. 検量線タブ及びキャリブレーション結果詳細タブで、キャリブレーションポイントの結果をレビューします。 6. ポイント再測定ボタンを選択します。
<p>11 タイムアウトの無視</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ルーチン > キャリブレーションのステータスを選択します。 2. キャリブレーションのステータスパネルで項目を選択し、> ボタンを選択します。 3. キャリブレーション一覧パネルで、カセットビュータブを選択します。タイムアウトを超過したカセットを選択し、> ボタンを選択します。 4. キャリブレーション詳細 {0} {1} パネルで、キャリブレーションをレビューします。当該のキャリブレーションがまだ利用可能であると判断した場合、検量線タブでタイムアウトを無視するボタンを選択します。

☐ クイックリファレンス：キャリブレーション

手順	作業内容
12 キャリブレータのレビュー	<ol style="list-style-type: none"> 1. ルーチン > キャリブレーションのステータスを選択します。 2. キャリブレーションのステータスパネル下部のキャリブレータのレビュータスクボタンを選択します。 3. キャリブレータのレビューパネル上部に、フィルタリングパラメーターを入力します。
13 スタンバイキャリブレーションの実施	<ol style="list-style-type: none"> 1. 測定装置に架設する試薬ロットを管理するには、ルーチン > 試薬ステータスを選択した後に、リストから試薬を選択します。 2. ルーチン > キャリブレーションのステータスを選択した後、スタンバイキャリブレーションを実施する試薬を選択し、実行ボタンを選択します。 3. 特定の試薬ロットに属している結果についてフィルタリングを行います。 4. キャリブレーションを行う試薬ロットの隣にあるチェックボックスを選択します。 5. キャリブレーション一覧パネル下部のフルキャリブレーションボタンを選択します。 6. キャリブレーションが正常に完了した場合、有効ステータスのキャリブレーション結果が表示されます。このキャリブレーション結果はリリースできます。 7. QCをオーダーするには、有効化されていないキャリブレーションの隣にあるチェックボックスを選択し、QCのオーダーボタンを選択します。 8. QCが正常に完了した場合は、QCステータスが有効に変わります。
14 スタンバイキャリブレーションのリリース	<ol style="list-style-type: none"> 1. ルーチン > キャリブレーションのステータスを選択した後、リリースするスタンバイキャリブレーションの検査を選択します。 2. キャリブレーション一覧パネルでキャリブレーションを選択し、実行ボタンを選択します。 3. スタンバイキャリブレーションがまだリリースされていない場合、検量線タブ下部のリリースボタンを選択します。

☒ クイックリファレンス: キャリブレーション

クイックリファレンス : QC

手順	作業内容
1 QC 試料の架設	<div data-bbox="539 443 774 571" data-label="Image"> </div> <ol style="list-style-type: none"> QC 試料が入ったチューブを適切なラックに架設します。 ラックを装置右側のラックローディングエリアのラックスロットに挿入します。 ラックが装置に架設され、バーコードが読み取られるまで待ちます。 システムに架設されているラックを表示するには、ルーチン > ラックを選択します。 QC ラックを取り出すには、当該ラックの隣にあるチェックボックスを選択し、排出ボタンをクリックします。
2 QC ロットの管理	<ol style="list-style-type: none"> ルーチン > QC ステータス > QC ロット管理を選択します。 QC ロットを有効化するには、QC ロット管理パネル下部の有効化ボタンを選択します。 QC ロットを待機ステータスに設定するには、QC ロット管理パネル下部の待機 QC に設定ボタンを選択します。 QC ロットを無効化するには、QC ロット管理パネル下部の無効化ボタンを選択します。
3 ルーチン QC のオーダー	<ol style="list-style-type: none"> ルーチン > QC ステータスを選択します。 QC ステータスパネルで、QC が必要な項目の隣にあるチェックボックス（又は QC 試料の隣にあるチェックボックス）を選択し、QC のオーダーボタンを選択します。
4 準備 QC のオーダー	<ol style="list-style-type: none"> ルーチン > キャリブレーションステータスを選択します。 キャリブレーションステータスパネルで、準備 QC を実施するテストを選択し、実行ボタンを選択します。 キャリブレーション一覧パネルで、キャリブレーションビュータブの有効化されていないキャリブレーション、又はカセットビュータブの架設済みで未使用の試薬カセットを選択し、QC のオーダーボタンを選択します。
5 待機 QC のオーダー	<ol style="list-style-type: none"> ルーチン > QC ステータスを選択します。 QC ステータスパネルで、QC 試料の隣にあるチェックボックスを選択します。 QC ステータスパネル下部の待機 QC をオーダーボタンを選択します。
6 QC オーダーのキャンセル	<ol style="list-style-type: none"> ルーチン > QC ステータスを選択します。 QC ステータスパネルで、QC 試料の隣にあるチェックボックスを選択します。 ルーチン QC 又は準備 QC をキャンセルするには、QC ステータスパネル下部のQC のキャンセルボタンを選択します。 待機 QC をキャンセルするには、QC ステータスパネル下部の待機 QC のキャンセルボタンを選択します。

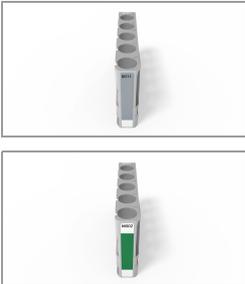
☐ クイックリファレンス : QC

手順	作業内容
7 QC のレビュー	<ol style="list-style-type: none"> 1. ルーチン > QC ステータス を選択します。 2. QC ステータスワークエリアで、項目の隣にあるチェックボックスを選択し、▶ ボタンを選択します。 3. QC 結果の詳細 : パネルで結果及び詳細を管理します。 4. QC 結果の詳細 : パネルで、結果及び詳細が期待される範囲内となるように管理します。 5. Levey-Jennings chart パネルから、以下のアクションを行うことができます。 <ul style="list-style-type: none"> • 結果を統計から除外する • QC 結果の LIS への送信 • QC 試料のQCレベルステータスを期限切れステータスに設定します。
8 QC 目標範囲の設定	<ol style="list-style-type: none"> 1. ルーチン > QC ステータス を選択します。 2. QC ステータスパネルで、項目の隣にあるチェックボックスを選択し、▶ ボタンを選択します。 3. Levey-Jennings chart パネルで、QC 試料を選択し、目標範囲の設定 ボタンを選択します。 4. 目標範囲の設定ダイアログボックスで範囲オプションを選択し、保存 ボタンを選択します。

☒ クイックリファレンス : QC

クイックリファレンス：テストオーダー及びラックの取扱い

検体の測定を行うには、検体が本装置に架設され、当該検体のテストがオーダーされる必要があります。

手順	作業内容
1 テストオーダー	<ol style="list-style-type: none"> 1. サンプルと結果タブを選択します。 2. サンプルと結果パネルで、テスト対象の検体の隣にあるチェックボックスを選択します。 3. ルーチン検体を STAT に変更するには、サンプルと結果パネル又は検体詳細 '{0}'パネルの STAT ボタンを選択します。 4. テストをオーダーするには、サンプルと結果パネル下部のマニュアルオーダーボタンを選択します。 5. 検体 '{0}'のオーダー手入力パネルで利用可能な項目のボタンを選択し、オーダーボタンを選択します。
2 バーコードなしの検体の作成	<ol style="list-style-type: none"> 1. ルーチン > ラックを選択します。 2. ラックの概要パネル下部のマニュアル入力ボタンを選択します。 3. マニュアル入力パネルで、バーコードなしの検体があるポジションのラック ID: 欄及び検体 ID: 欄に入力します。 4. 保存ボタンを選択し、ダイアログボックス内で検体 ID が正しい位置に入力されていることを確認します。
3 サンプルラックの架設及び排出	<div data-bbox="533 1167 778 1451" style="display: inline-block; vertical-align: top;">  </div> <ol style="list-style-type: none"> 1. 採血管をサンプルラックに架設します。 2. ラックローディングエリアのラックスロットの1つにサンプルラックを置いてください。 3. サンプルラックのステータスを表示するには、ルーチン > ラックを選択します。 4. ラックにある採血管のステータスを個別に表示するには、ラックパネルで、サンプルラックの隣にあるチェックボックスを選択し、>ボタンを選択します。 5. サンプルラックを排出するには、以下のいずれかのパネルの排出ボタンを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • ラックの概要 • ラックの詳細 • サンプルと結果 6. サンプルラックを削除するには、ラックパネル下部の削除ボタンを選択します。

☒ クイックリファレンス：テストオーダー

手順

作業内容

4 ラックトレイの架設及び排出



 本セクションは、サンプルバルコニーを装備した測定装置にのみ適用されます。

1. 空のラックトレイをサンプルバルコニーの検体排出部の位置に架設します。
2. 採血管をサンプルラックに架設し、サンプルラックをラックトレイに架設します。
3. ラックトレイハンドルを装置前面に向けた状態で、サンプルラックの入ったラックトレイを検体投入部に架設します。
4. ラックトレイを取り出すには、サンプルラックのラックトレイへの排出が終了し、ラックトレイが検体排出部から持ち上げられるまで待ちます。

 ラックトレイが架設又は排出可能になると、ステータスインジケータによって示されます。

☒ クイックリファレンス：テストオーダー

クイックリファレンス：結果の取扱い

結果の表示、承認、再測定のお知らせ及びレポートの作成には、結果管理ツールを使用してください。

手順	作業内容
1 結果の取扱い	<ol style="list-style-type: none"> 1. 検体の測定結果を表示するには、サンプルと結果タブを選択します。 2. 検体の詳細を表示するには、サンプルと結果パネルで検体の隣にあるチェックボックスを選択し、▶ボタンを選択します。 3. 特定の項目の詳細を表示するには、検体詳細 '{0}'パネルでその項目の隣にあるチェックボックスを選択し、▶ボタンを選択します。 4. テスト結果をマニュアルで承認するには、検体詳細 '{0}'パネルで項目の隣にあるチェックボックスを選択し、承認ボタンをクリックします。 5. 再測定をオーダーするには、検体詳細 :パネルで、項目の隣にあるチェックボックスを選択し、再測定ボタンを選択します。 6. 結果を LIS に送信するには、項目の隣にあるチェックボックスを選択し、送信ボタンをクリックします。 7. 結果を削除するには、項目の隣にあるチェックボックスを選択し、削除ボタンをクリックします。 8. すべてのテスト結果を承認するには、すべてを承認するボタンを選択します。 9. 別のテストオーダーを作成するには、マニュアルオーダーボタンを選択します。
2 レポートの作成及び印刷	<ol style="list-style-type: none"> 1. グリッドレポートを作成するには、パネル上部の  ドロップダウンリストを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • ドロップダウンリストから、CSV ファイルを印刷するか、エクスポートするかを選択します。 2. 定義レポートを作成するには、パネル下部（該当する場合）でレポート印刷ボタンを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • PDF エクスポートを行う場合、印刷オプションを選択します。 3. システムに保存されているレポートを管理するには、管理 > スクリーンショットとファイル管理を選択します。
3 累積 QC レポートの印刷	<ol style="list-style-type: none"> 1. ルーチン > QC ステータスを選択します。 2. QC ステータスパネル上部で、 ドロップダウンリストを選択し、累積 QC レポートを印刷するボタンを選択します。 3. 時間を選択確認画面で、レポートする期間を定義し、印刷ボタンを選択します。

 クイックリファレンス：結果の取扱い

クイックリファレンス：ファクターパラレルリズム測定結果の取扱い

ファクターパラレルリズムテストの場合、測定結果の表示と送信、希釈測定追加及びレポートの作成を実行できます。

手順	作業内容
1 ファクターパラレルリズム測定結果の表示及び送信	<ol style="list-style-type: none"> 1. サンプルと結果タブを選択します。 2. サンプルと結果パネルで、検体の隣にあるチェックボックスを選択し、 ボタンを選択します。 3. 検体詳細 '{0}' パネルで、項目の隣にあるチェックボックスを選択し、 ボタンを選択します。 4. ファクターパラレルリズム {0} の結果パネルで、希釈反応曲線及びファクターパラレルリズム判定基準計算を確認します。 5. パネル左側の概要から、LIS に報告する値を選択し、送信ボタンを選択します。
2 ファクターパラレルリズムテストへの希釈測定追加	<ol style="list-style-type: none"> 1. サンプルと結果タブを選択します。 2. サンプルと結果パネルで、検体の隣にあるチェックボックスを選択し、 ボタンを選択します。 3. 検体詳細 '{0}' パネルで、項目の隣にあるチェックボックスを選択し、 ボタンを選択します。 4. ファクターパラレルリズム {0} の結果パネルで、測定を追加するボタンを選択します。 5. ファクターパラレルリズム希釈確認画面で、希釈及び追加測定の希釈ごとの再測定回数を選択し、確認ボタンを選択します。
3 ファクターパラレルリズムテストレポートの作成及び印刷	<ol style="list-style-type: none"> 1. サンプルと結果タブを選択します。 2. サンプルと結果パネルで、ファクターパラレルリズムテストを実行した検体の隣にあるチェックボックスを選択して、 ボタンを選択します。 3. 検体詳細 '{0}' パネルで、項目の隣にあるチェックボックスを選択し、 ボタンを選択します。 4. 検体測定詳細パネルで、 ドロップダウンリストを選択し、ファクターパラレルリズム詳細印刷ボタンを選択します。

 クイックリファレンス：ファクターパラレルリズム測定結果の取扱い

クイックリファレンス：クロスミキシング検査結果の取り扱い

クロスミキシング検査の結果を表示及び比較できます。

手順	ユーザーアクション
1 クロスミキシング検査結果の表示	<ol style="list-style-type: none"> 1. サンプルと結果タブを選択します。 2. サンプルと結果パネルで、クロスミキシング検査をオーダーする検体の隣にあるチェックボックスを選択し、▶ ボタンを選択します。 3. 検体詳細 '{0}' パネルで、クロスミキシング検査の測定結果の隣にあるチェックボックスを選択し、▶ ボタンを選択します。 4. クロスミキシング検査 {0} の結果 : {1} パネルで、各混合物の検査の結果のほか、ロスナーインデックスの結果とパーセント補正が設定されている場合はそれらを表示できます。
2 即時反応クロスミキシング検査の結果と遅発反応クロスミキシング検査の結果を比較し、その逆も同様です。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 比較する検査結果の選択ドロップダウンリストから、表示されている結果と比較するクロスミキシング検査結果を選択します。
3 混合物の詳細の表示	<ol style="list-style-type: none"> 1. 混合物の検査の結果の詳細を表示するには、結果のリストから結果を選択してから、混合物測定の詳細タブを選択します。
☒ クイックリファレンス：クロスミキシング検査結果の処理	